分科会活動報告

環境アレルギー分科会－2025年度活動報告

平　久美子

東京女子医科大学附属足立医療センター

【概要】

2025年４月から2026年３月までに、当分科会の会合はZOOMまたは、ZOOM併用のハイブリッド形式で、東京科学大学鍵直樹教授の厚意により同大学大岡山キャンパスで計５回開催された。毎回、分科会内外の専門家による情報提供と活発な質疑応答がなされた。2025年６月には、第33回日本臨床環境医学会学術集会において前年度の活動報告とともに、「室内環境の視点からみた住まいのアレルギー対策：提言発表記念シンポジウム」を開催した。また前年度にとりまとめた、教科書「住まいのアレルギー対策―室内環境からのアプローチ」の一般向けのダイジェスト版としての提言「室内環境の視点からみた住まいのアレルギー対策」の概要についてのポスターを作成した。

【分科会メンバー】

医学分野（12名）：谷口正実（湘南鎌倉総合病院臨床研究センター）、渡井健太郎（近畿大学）、角田和彦（かくたこども＆アレルギークリニック）、阪口雅弘（東京環境アレルギー研究所）、白井秀治（東京アレルギー・呼吸器疾患研究所）、高岡正敏（（株）ペスト マネジメント ラボ）、東賢一（近畿大学）、高野裕久（京都先端科学大学）、釣木澤尚実（国立病院機構横浜医療センター呼吸器内科）、高鳥浩介（NPOカビ相談センター）、竹熊美貴子（埼玉県衛生研究所）、平久美子（東京女子医科大学附属足立医療センター麻酔科、代表）、物理・化学分野（４名）：関根嘉香（東海大学）、高橋久美子・成田泰章（暮らしの科学研究所）、篠原直秀（産業技術総合研究所）、建築分野（14名）：吉野博（東北大学）、池田耕一（日本建築衛生管理教育センター）、野﨑淳夫（東北文化学園大学大学院、副代表）、一條祐介・二科妃里（東北文化学園大学大学院）、鍵直樹（東京科学大学）、柳宇（工学院大学）、長谷川兼一（秋田県立大学）、三田村輝章（前橋工科大学）、金勲（国立保健医療科学院）、林基哉（北海道大学）、長谷川麻子（宮城学院女子大学）、山田裕巳（安田女子大学）、山野裕美（（株）シミズ・ビルライフケア、幹事）

【2025年度の活動内容】

2025年４月18日（大岡山キャンパス+ZOOM開催）：シンポジウム予演会

（平、金、柳、高岡、山野、阪口、角田、池田、野崎、三田村、篠原、釣木澤、吉野）

2025年５月29日（ZOOM開催）：シンポジウム予演会

（高岡、池田、野崎、篠原、釣木澤）

2025年６月22日：第33回日本臨床環境医学会学術集会（東京科学大学大岡山キャンパス）

環境アレルギー分科会として、室内環境の視点からみた住まいのアレルギー対策―提言発表記念

シンポジウムを開催した。プログラムは以下の通り。各講演の詳細は学会誌「臨床環境医学」に投稿し、報告として第34巻２号p.60−p.68に掲載された。

室内環境の視点からみた住まいのアレルギー対策：提言発表記念シンポジウム（司会　林基哉）
14：00〜15：00
１．趣旨説明／増え続けるアレルギー疾患　アレルギー対策の重要性,化学物質過敏症,シックハウス症候群との関係（平久美子）
２．衛生仮説の現在（金勲）
３．カビ対策とエアコン定期クリーニングの必要性（柳宇）
４．ダニ対策（高岡正敏）
５．花粉対策（山野裕美）
６．ペット対策（阪口雅弘）
15：10〜16：10
７．化学物質とアレルギー（角田和彦）
８．アレルゲンによる汚染防止のための技術的対策（池田耕一）
９．空気清浄機の利用と効果的な使い方（野崎淳夫）
10．空気清浄機を搭載した全館空調の効果（三田村輝章）
11．災害に関連したアレルギー疾患対策の重要性、基礎編（篠原直秀）
12．災害に関連したアレルギー疾患対策の重要性、臨床編（釣木澤尚実）
16：10〜16：30
13．総合討論（吉野博）

2025年８月22日（ZOOM開催）：
今後の活動方針について；
情報提供「ルームエアコンにおける防汚性の試験評価方法について」（野崎）
2025年10月10日（ZOOM開催）：
ポスターについて（平）；
情報提供「保育施設におけるエアロゾル感染対策のための換気改修」（山田）
2025年12月12日（大岡山キャンパス＋ZOOM開催）：
ポスターについて（白井）；
情報提供「中枢性感作症候群としての化学物質過敏症―発症機序と臨床経過―」（平）
2026年２月24日（ZOOM開催）：
ポスターについて（白井）；次回学術大会の演題について

【今後の活動計画】

作成したポスターを学会ホームページ上で公表するとともに、印刷する。

第34回日本臨床環境医学会学術集会において、作成したポスターの説明と当分科会会員による教育講演１件を行う。

引き続き対面またはオンラインによる勉強会を１－２ヶ月に１回開催する。